

評価対象	羅針盤		方策	自己評価①		自己評価②	
	評価項目	具体的数値項目		自己評価	改善策	自己評価	改善策
II 確かな学 力	4 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	④「授業がわかる」と答える児童が85%以上である。	・ねらいを明確にした授業の実践や相互参観、学年会の充実等により、授業力を高める。 ・少人数指導による、個に応じた授業、専科によるきめ細かな指導をすすめる。	A	継続して取り組む	A	継続して取り組む
	5 学習の基礎・基本が確実に身につけていますか。	⑤基礎的基本的学習内容が身につけていると答える保護者が85%以上である。	・学習の定着が不十分な児童を把握し個別に支援を行うとともに、学習のまめと「ふりかえり」を徹底し、その時間の学習内容を身につけさせる。	B	継続して取り組む	A	継続して取り組む
	6 国語・算数の単元テスト達成率の目標値をクリアできていますか。	⑥国語・算数の単元テスト達成率の目標をクリアできていると答える職員が85%以上である。	・国語・算数の単元テスト達成率の目標を事前に設定し、つまずきやすい内容を確認しながら児童への指導を行う。	B	継続して取り組む	B	継続して取り組む
	7 児童の学力や努力を適切に評価し、その結果を生かしていますか。	⑦指導と評価の一体化を図り、適切な指導・支援の充実に努めていると答える職員が85%以上である。	・補助簿等を作成して学習活動を適切に評価し、指導・支援に役立てる。 ・二者面談、通知表で児童の様子や成果を保護者に伝えていく。	A	継続して取り組む	A	継続して取り組む
	8 学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	⑧家庭での学習課題を最後までやり遂げている児童が85%以上である。	・宿題の工夫や家庭学習カードの活用により、家庭学習の習慣化を図る。 ・展示を工夫し、魅力的な図書室運営を図る。	B	継続して取り組む	B	継続して取り組む
9 すずんで英語に取り組む児童が育っていますか。	⑨「英語の授業に進んで取り組んでいる」と答える児童が80%以上である。	・児童が楽しく活動し、担任が指導しやすい指導計画を作成し、授業実践する。	A	継続して取り組む	A	継続して取り組む	